





園長	次長	係長	主任
			

## 令和5年度 第2回 DSうずらはし運営推進会議 会議録

( 定例 ・ 臨時 )

令和 5年 12月 14日 (木曜日) 13:30~14:20		司会	記録
特養うずらはし本館 あじさい~ぼたん間廊下		梅田	梅田
【出席者】 木村委員 山崎委員 外石委員 雲村委員 轡田委員 泉委員 中野委員 高岡委員 星委員 事務局:4人 計 13人		【欠席者】 丸山委員 宮腰委員	
議 題	協 議 内 容 ・ 結 果		
1)あいさつ	<p>・委員の皆様と顔を合わせて会議を開催できること、非常にありがたく感じているところです。うずらはしの事業の内容を、見て、聞いて、意見を頂き、透明性のある/開かれた施設運営を図るために、皆様からご協力いただくことが、この会の目的となります。</p> <p>・今年度のうずらはしの大きな事業としまして、デイサービスの認知症対応型一本化にむけての移行期間として進めておるところです。おかげさまで利用されている方の移行もスムーズに進捗し、大きなトラブルもなく春を迎えることができるところまでできております。まだまだ課題もありますが、春までにはひとつひとつを整理し、認知症への対応が行き届く事業所として、地域に貢献できるようにしていきたいと考えているところです。</p> <p>・また、例年皆様からご協力を頂き秋に開催しております、地域合同防災訓練ですが、感染対策に鑑み9/6に職員のみでの実施しました。改めて有事の際には、やはり皆様からのご協力が必要との認識を強くしたところです。次年度、ぜひお力添えを頂きたいと考えております。</p> <p>・委員の皆様からの協力を仰ぎながら、また地域との歩みを共にしながら、うずらはしの運営を図っていききたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。</p>		
2)デイサービス活動報告 ・リニューアル進捗状況	<p>&lt;藤塚係長&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動、関りに関してより一層専門的知識・技術を用いて「生きがい」「役割」作りに重きを置き、一人ひとりに寄り添い支援を行う。</li> <li>・想いを汲む取り組みとして、長谷川式認知機能評価を用い、興味・やってみたいことを聞き取り、個々の活動内容を考えていく取り組みを行う</li> <li>・畑での野菜栽培、収穫、調理の説明</li> <li>・はがき作りの説明</li> <li>・作業ではなく関りの重要性</li> <li>・係長、主任による長谷川式スケールの模擬実施</li> </ul> <p>&lt;梅田&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のスケジュール説明</li> <li>・利用者移行状況</li> </ul>		
3)事故・ヒヤリハット・苦情	・熊倉主任より報告(別紙参照)		
相談集計報告(7月~11月)			

O

O

令和5年12月14日

令和5年度 第2回

デイサービスセンターうずらはし 運営推進会議 次第

1) あいさつ

2) デイサービス活動報告・リニューアル進捗状況

3) 事故・ヒヤリハット・苦情相談集計報告(7月～11月)

4) 新型コロナウイルス感染症に対する予防対策について

5) その他(意見交換)

○

○

# 令和5年度 活動報告

## デイサービスセンターうずらはし

令和5年12月 運営推進会議資料

1

### うずらはしデイサービス リニューアルへ向けての進捗状況報告

- Re（再生）をテーマに、人生を再び輝かしく生きることを目的とし「生きがい作り」「役割」など生活支援に視点をあてた支援の展開を目指し取り組んでおります。
- 「ひとりひとりの活動が日課」となるよう、認知機能評価の実施と興味・関心チェックシートを用いてお一人おひとりのお話を伺い、皆さんの思い基に活動を計画し参加に繋げております。

2

## 興味・関心チェックシート実施結果

- ・ 1位 旅行・温泉
- ・ 2位 畑仕事
- ・ 3位 歌を唄う・カラオケ
- ・ 4位 料理を作る
- ・ 5位 家や庭の手入れ・世話



その他・・・買い物、針仕事、孫・子供の世話など

3

### 畑仕事

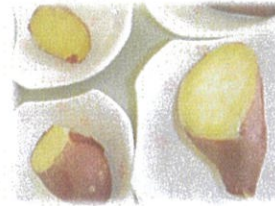
今年はキュウリ、サツマイモ、大根を植えました。  
皆さんの知識と経験を發揮していただいています。



4

調理

うずら畑で収穫した野菜たちは、皆さんの力を借りて美味しく調理いただきました。



5

日常的な活動

「洗濯は私の仕事よ」「買い物へ行きたいな」「手芸が好きでよく作品を創っていた」などの声を聴き、それぞれの活動に取り組んでいます。



6

## ハガキ作成

新たな取り組み、再生紙を活用しハガキ作りをみんなで試行錯誤しながら、日々取り組んでいます。



7



活動の当初は、作成工程に戸惑ったり「本当にハガキになるの？」など不安な事もありましたが、現在は皆さん手際よく作成されています。



8



関わりを大切に

みなさんの感情やこころの世界に寄り添い、コミュニケーションを図っております。



9



私たちの思い・願いを繋げていきます

10

# 介護事故・ヒヤリハット・車両事故・苦情相談・苦情相談 集計結果

令和5年7月～11月

月	種別	件数	状況
7月	事故	0	入浴時に移乗介助の途中でその場を離れてしまい、ご利用者が1人で移乗しようとしてふらついたという内容と、他者が使用して置いていた押し車の座面にご利用者が座ってしまったという内容の計2件のヒヤリハットが起こっています。特に移乗介助の途中でその場を離れることは非常に危険であり、重大事故に直結してしまうことである為、完了するまで離れない、代わりの職員を呼ぶ等対応策の徹底をして参ります。
	ヒヤリハット	2	
	車両事故	0	
	苦情相談	2	送迎において農道を通ってしまご家族から指摘を受けたという内容と、ご利用者ご本人が職員から「わざと痛がっている」等の不快なことを言われたことを内容で計2件上がっています。特に不快な発言をされたという内容については、ただ単に業務連絡の話をしていたとしても、話し方や言葉選びで不快にさせてしまうことは容易に考えられる為、それらを含めて接遇向上に努めて参ります。
8月	事故	3	爪切り介助をしている際に誤って皮膚を切ってしまうという内容、ご利用者の氏名が記載されている書面を別の方のお宅に配布してしまうという内容、椅子からのずれ落ちという内容の計3件の事故が発生しています。特に椅子からのずれ落ちについては、ご利用者の体格やその時のADL等に合った椅子を使う等、その時々のご利用者の細かな状態変化に注意し、状態に適した対応が取れるよう努めて参ります。
	ヒヤリハット	0	
	車両事故	0	
	苦情相談	0	

9月	事故	3	ご利用者の氏名が記載されている書面を他の方のお宅に配布してしまったりという内容、ハサミで工作をしていて利用者の方が誤って自身の指をハサミで切りつけてしまったという内容、送迎時、センター到着した際にリフトから車椅子に乗った主を降ろそうとした際にバランスを崩して職員毎後ろに倒れてしまうという内容の計3件の事故が発生しています。誤配事故については毎年繰り返している内容であり、対応策の徹底が不十分で起きている為、いかなる時も全職員で徹底できるよう再度周知して参ります。また後方へ倒れた事故についてはご利用者の身体に合った車椅子の使用、介助方法を徹底して参ります。
	車両事故	0	
	苦情相談	0	
10月	事故	1	ご利用者が持参ではない菓子の空袋を握っており、向うと「今飲んだ」という発言を受けての誤薬事故が1件起きています。認知症の進行等で今までは自己管理、判断できていたが難しくなっている場合もあり、そういった変化に注意し、お迎えの際に不要な物は自宅に置いてきていただけるよう努めて参ります。
	車両事故	0	
	苦情相談	0	
11月	事故	2	・ご利用者の手帳に他の方の利用時のコメントを記載してしまったりという内容の事故が1件起きています。記載内容にはご利用者の氏名等、個人を特定できるような情報は記載していませんでしたが、それぞれのご利用者、ご家族へ必要な情報が正確に伝わらなかったというご迷惑と不安を与えてしまいました。手帳記載時の確認、注意点を全職員で注意、徹底して参ります。
	ヒヤリハット	1	・移乗時のヒヤリハットも1件上がっています。特にスライディングボードを使用する際は一層転落に注意が必要です。適切な環境設定、方法で統一した実施ができるよう努めて参ります。
	車両事故	0	
	苦情相談	0	

## 6) 新型コロナウイルス感染症に対する予防対策について

### ①手指消毒、マスク着用の徹底と継続

- ・風邪やインフルエンザ対策と同様の対応徹底と継続。

R5.11.20～

### ②職員の出勤前の検温

- ・出勤前に自宅での検温の実施。37.5℃以上の場合は出勤禁止。
- ・検温の結果は健康チェック表に記載すること。
- ・37.5℃以上の発熱があった場合は、解熱後24時間経過し、かつ呼吸器症状がみられなくなってから出勤可。

### ③外出について

- ・人混みの場所への出入りについては、マスクを着用し、慎重に行動すること。
- ・不特定多数の集まる行事等、人混みが予想される場所への出入りをした場合は事前に施設長へ報告し、出勤前に抗原検査を実施する。

### ④面会について（4/4～実施）

- ・対面面会については、以下の条件にて実施。
  - 人数：ひと家族2人まで
  - 時間：ひと家族15分（同時刻：本館/新館ごとに、ひと家族のみ）
  - 場所：本館（機能訓練スペース）/新館（玄関前共有スペース）
  - その他：面会時間が重ならないよう事前の予約
    - 到着時の体温測定/面会時チェックシートの記入
    - サージカルマスクの常時着用と手指消毒
    - 面会中に身体に触れること、飲食は控える
    - 看取り等の場合は、都度相談する
- ・リモート面会/窓越し面会は継続して実施。

### ⑤業者の出入りについて

- ・基本は玄関での受け渡し。在庫管理で施設内へ入る際には、検温+体調確認の実施。
- ・なお在庫管理の際に新館⇄本館の行き来に関しては、2丁目を通らず。玄関へ。
- ・ボランティアに関しては、感染状況に応じ都度判断する。
- ・理髪に関しては泉床屋のみに限定する対応で当面継続する。  
※実施に当たっては密な空間を避けること。

### ⑥ウイルスの遮断

- ・共用部の消毒強化。本館浴室/脱衣室は、DS終了後に消毒作業。
- ・脱衣室床、椅子、ベッ、カゴ、特浴機、中間機等手を触れるもの。
- ・浴室からステーション前の床も消毒。
- ・パソコンのキーボード、マウス、電話、各ステーションのテーブルの消毒。
- ・特養フロアへの他部署職員の立ち入りは極力控える。
- ・新館⇄本館の入居者・職員の行き来を極力控える。

### ⑦デイサービス利用者の対応

- ・利用前の検温の継続。体温計持参し乗車前に検温。
- ・37.5℃以上または風邪症状のある場合は利用不可。  
※利用再開にあたっては解熱後24時間+呼吸器症状の経過確認
- ・可能な限りマスク着用
- ・利用者・家族に感染者・もしくは感染者との濃厚接触が疑われる方がいる場合は必ず連絡を入れてもらう。

### ⑧特養入居者への対応

- ・ 37.5℃以上の発熱又は呼吸器症状が2日以上続いた場合は歌川Drに相談。
- ・ 疑いがある入居者に関しては、インフルエンザ同様マニュアルに沿った対応。
- ・ 1ケア1手洗いの再確認、退室前の居室内の手洗いの再確認。

※疑いのある利用者とその他の利用者の介護にあたっては、可能な限り担当職員を分けて対応する。

### ⑨居宅の担当への対応

- ・ 利用者の自宅訪問に関しては、発熱・風邪症状の有無、自宅に濃厚接触者がいる等の確認を行ったうえでの訪問。

### ⑩正しい知識と正しい手技

- ・ 正しい知識と正しい手技を行えば、蔓延防止は可能。落ち着いて対応。

### ⑪濃厚接触が疑われる場合

- ・ 職員の同居家族等が感染した場合、医師の指示による療養期間中は自宅待機とし、療養期間終了前日と終了日に抗原検査し陰性を確認の上出勤とする。
- ・ デイサービス利用者については、状況等を聞き取り対応する。

### ⑫3密（密閉・密集・密接）の環境を作らない

- ・ 各部署とも、午前2回、午後2回と必ず換気を行う。
- ・ 休憩場所の「使用前後」の換気、消毒。休憩時間をずらすなどして、狭い空間にマスクをはずして密集することがないようにする。
- ・ ユニットの跨いで入居者が集まるような行事はしない。各ユニットでできるような工夫する。不特定多数が参加する行事は当面中止を継続する。
- ・ 園内研修・職員会議は30人程度を目安に、小グループでの実施など3密にならない工夫をした上で行う。

### ⑬感染者が確認された場合

- ・ 濃厚接触者を把握できるように、ケア記録、勤務表の管理とともにデイにおいては、送迎車のメンバーや同乗職員、利用時の配置などを記録しておく。
- ・ 感染の疑い及び濃厚接触者の対応は居室やエリアを区切ったの隔離対応とする。

### ⑭物品の確保

- ・ 感染者が出た場合に備え必要物品の確保に努める。

### ⑮職員懇親会について

- ・ 個別の飲食については感染予防を行いながら可能。
- ・ 親睦会主催の懇親会等については、地域の感染状況により20人程度での開催を可能とする。

### ⑯新しい生活様式の推進について

- ・ 感染症分類が5類に移行しても、福祉施設職員としての意識を継続しつつ行動すること。

...

O

...

O

...